



(一社)東北電気管理技術者協会 山形県支部

労働災害対策研修

2022.07.28

TMC

企業は人なり 人は財なり
TMC 経営支援センター

労災保険とは？

- ・**労災保険は強制加入**

（他人労働者を一人でも雇用する事業主は**必ず加入**しなければならない）

- ・**労働者の業務上又は通勤途上の災害について補償される国^の保険。**

最も安心できる補償が充実した保険
(病院代全額、8割の休業補償等)

- ・**業務災害や通勤災害には原則として健康保険等は使用できない。**

労災保険の主な給付内容①

・療養補償

病院代、薬代、コルセット代などの費用は**全額支給**。

・休業補償

ケガのために仕事が出来ない場合、休業4日目から治るまで、補償日額の**8割**が支給される。

・障害補償

災害により障害が残ってしまった場合、障害の程度に応じて**年金又は一時金**が支給。

例) 障害等級5級

⇒ 補償日額184日分の年金が生涯支給される。
見舞金として225万円も支給される

労災保険の主な給付内容②

・遺族補償

万一死亡してしまった場合、遺族に対し、
年金又は一時金が支給。

例) 奥さんと中学生の子が残された場合

⇒ 補償日額201日分の年金を毎年支給

・葬祭料

葬式代として、最低でも補償日額の60日分支給

・介護補償

介護が必要となった場合、最大で月およそ10万円支給

労災発生事例①

①概要

屋根からハシゴで降りる際、ハシゴがずれたため、足を踏みはずして転倒し、頭と肩を地面に打ち負傷。
(経験年数 50年)

頸椎や肩の骨折（2ヶ月半休業）

②補償内容(労災保険)

- ・病院代全額
- ・休業補償 2.5ヶ月分（約375,000円）

労災発生事例②

①概要

トラックに積み込んだ廃材の荷崩れ防止のために、廃材の上に乗ってロープをジャッキで締めていたところ荷台から滑って転落。（経験年数5年）

胸椎破裂骨折

②補償内容(労災保険)

- ・病院代全額
- ・休業補償1年6ヶ月分（約430万円）
- ・1年6ヶ月を経過しても治らず、障害補償給付を受給

事業主と労働者の違い

(1) 事業主とは？

- ①労働者を使用し、賃金を支給する者
- ②請負関係にある建設業の場合、**元請事業者**をその現場の**事業主**とみなす。

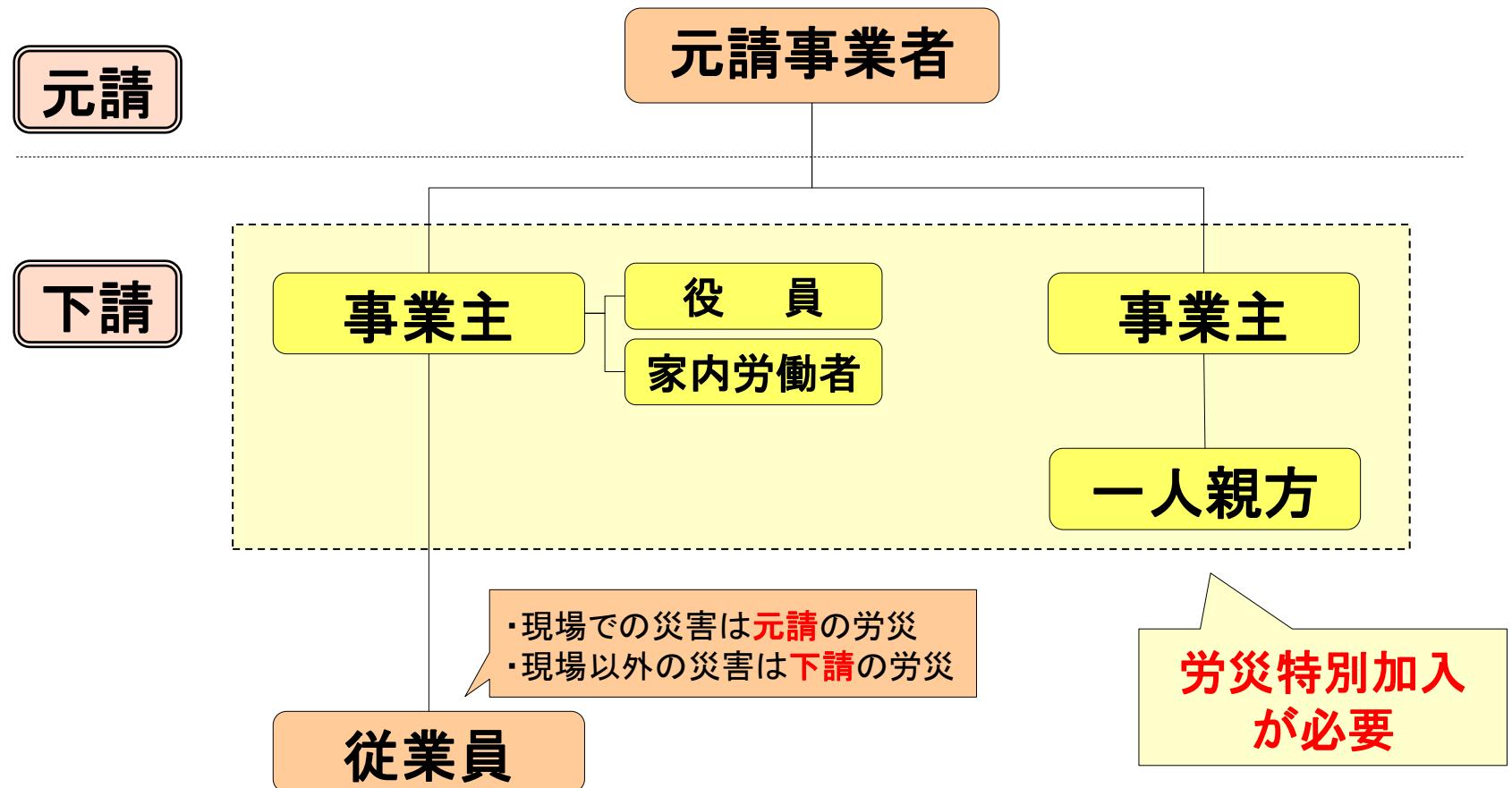
※下請金額が1億9000万円以上の場合、除外可能

(2) 労働者とは？

- ①事業主に使用され、賃金を支給される者
- ②下請の事業主や一人親方は**「労働者」ではない。**

労災特別加入

労災特別加入とは…事業主、一人親方等が特別に労災加入できる制度



立場による労災保険の違い

①従業員

⇒ 会社や元請が労災保険に加入していれば全員補償対象
(労災保険料は全額事業主負担)

②事業主・役員・家内労働者

⇒ 労災特別加入の手続きをしないと補償対象外
(特別加入するためには、労働保険事務組合への委託が必要)
(労災保険料は全額事業主負担)

③一人親方

⇒ 労災特別加入の手続きをしないと補償対象外
(特別加入するためには、労働保険事務組合への委託が必要)
(労災保険料は、本人が負担)

労災保険と民間保険の違い

労災保険	民間保険
<ul style="list-style-type: none">・病院代全額補償・手術をしても、いつまで入院しても治るまで一生タダ。上限なし・休業補償8割 (病院代の他に支給される)・重い障害や死亡は、生涯に渡って障害年金や遺族年金を支給・休業中、保険脱退しても給付が受けられる。	<ul style="list-style-type: none">・病院代は自己負担・保険金に限度あり (最大90日までなど)・補償は1日〇千円などの形 (入院・通院が終わってから請求)・一時金(数百万円など)の形が一般的・保険料を支払わないと休業給付が受けられない。

両罰規定

事業主は、労災について様々な責任を負う。
(**刑事責任、民事責任、行政罰、社会的責任**)

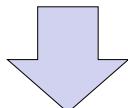
両罰規定とは？

労災発生時は、**事業主**だけでなく
当事者(現場監督等)も行政罰の対象となる。

労災隠しについて①

(1) 労災隠しとは

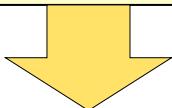
労災が発生した場合、労働基準監督署に**報告**する**義務**がある。



会社がこの報告義務を怠ると、**労災隠し**となる。

労災隠しについて②

- ・労災隠しは**犯罪**です。
(労働安全衛生法違反)
(50万円以下の**罰金**や**企業名公表**も)
- ・労災隠しに対し、厚生労働省は**厳正に対処**する方針(**送検も多数**あり)



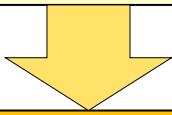
労災防止対策を徹底した上で、
労災発生時は**適正に労災申請**をしましょう！

労災隠しについて③

労災隠しには次のような事例があります。

実際には、元請現場で転落し、ケガをしていた。

⇒ 自社敷地内で脚立から転倒してケガをした
と虚偽の報告。



労働基準法令違反として
書類送検され、企業名公表

いざというときの保険

安全衛生に注意していても、労災が起きてしまうことはあります。

そのため、労災保険・上乗せ保険を万全にして、いざというときの備えをしておくことが不可欠です。

労災について相談できるパートナーの存在も重要です。
(労働保険事務組合、社会保険労務士等)

TMC労働保険組合のメリット①

事業主や一人親方が労災加入するには
「労働保険事務組合」への委託が必要です。

労働保険事務組合委託のメリット

- ① 事業主、家族労働者、一人親方も労災保険に**特別加入**できる。
- ② **事務負担が軽減**され、本業に専念できる。
(困ったときに相談もできる)
- ③ 金額に関わらず、保険料を3回に**分割納付**できる。

TMC労働保険組合のメリット②

災害発生時の給付手続きは**社会保険労務士**の業務

TMC労働保険組合は、
社会保険労務士法人TMCがバックアップ
⇒ 災害発生時は社会保険労務士が対応
(事業主の事務負担が少ない)

TMCでは、スマートフォンの画面上で労働保険加入証明が可能

労働災害対策のために…

労働災害に十分注意して業務にあたりましょう

でも、注意していても労働災害は起きてしまう

また、災害後が大事。対応で差がつく。
(役所対策、スピーディーな事務処理等)



「保険加入」から「災害時の対応」までトータルで
任せられるTMCグループに委託して、万一に備え
ましょう！